



ブラジルインフラ ニュースレター

**Tozzini
Freire.**
ADVOGADOS

エネルギー



ANEELが関税サンドボックスプロジェクトの公募を開始

国家電力庁(ANEEL)は、2022年8月23日に、電気分野における「サンドボックス」環境の発達を目指して料金サンドボックスプロジェクトを受け入れるための最初の公募の開始を承認しました。

この公募は、配電会社による提案の提出のために120日間行われます。提出されるプロジェクトは、優先テーマとして、低電圧セグメント向けの型破りの料金モダリティの実験を行い、32のコンセッション業者で構成されるガバナンスプロジェクトを担当するグループによる技術評価を受けます。

ANEEL 規範決議第 966/2021 号に規定されている通り、この最初の時点では、他の料金サブグループの料金形態、又は行動経済学や需要側管理(GLD) 技術などの他のテーマに対処するプロジェクトのプレゼンテーションに対する障害はありません。配電会社は、参加への関心を表明し、選択したテーマを知らせるために30日間の期間が与えられます。

ANEELはA-5新エネルギー入札通知を承認

国家電気庁（ANEEL）は、2022 年 8 月 16 日に、2027 年1月に供給が開始される水力発電、風力発電、太陽光発電、バイオマス熱電、国産石炭及、バイオガス及び都市固形廃棄物からの新発電プロジェクトからの電気エネルギーの契約を目的とした、新エネルギー A-5 のオークション通知を承認しました。

このイベントについて計算された限界参照費用は、1 メガワット時あたりのBRL 614/MWh。コンセッション無しの新規プロジェクト及びコンセッション有りで契約無しのプロジェクトの参照価格は、水力発電（UHE）で BRL 352/MWh、風力及び太陽光発電で BRL 280/MWh、BRL 353/MWh バイオマスの場合は、都市固形廃棄物（MSW）のエネルギー回収からのソースの場合は BRL 614/MWh、国産石炭とバイオガスを使用する火力発電所の場合は BRL 350 /MWh。

コンセッション及び契約のあるプロジェクトの場合、参照価格は、UHE が BRL 194.960/MWh、小規模水力発電所及び水力発電所が BRL 279.260/MWh、風力が BRL 212.370/MWh、太陽光発電が BRL 280.000/MWh、バイオマスの場合は BRL 303.720/MWh、MSW のエネルギー回収からのソースの場合は 603.560/MWh。

この議論は、電気エネルギー商議所 (CCEE) のプラットフォームを通じて 9月16日に行われます。しかし、ANEEL が発表した通達によると、入札の日付は10月14日に変更され、そのスケジュールも通達の条件に基づいて変更されました。

政府は水力発電所の貯水池の回復計画を承認します

2022年8月10日、連邦政府は、国内の水力発電所の正規化のための貯水池回復計画（PRR）を承認する結論を発表しました。この結論は、2022年7月11日の国家エネルギー政策評議会（CNPE）No. 8号によって承認された決議の成果です。

連邦政府によると、この計画は、国のエネルギー供給と水使用の保全の両方に特権を与える多部門の評価の下で、国の正規化の水力発電所の貯水池の回復に関連する行動の構造化に貢献し、そのうちのいくつかはすでに進行中です。設定された目標の中には、ブラジルの水力発電所の貯水池の貯蔵レベルを徐々に回復することが含まれています。

行動の構造化は、短期、中期、長期の実施の様々な柱で、四つの前線に分けられます：（i）貯水池の物理的側面、（ii）貯水池運用のダイナミクス、（iii）全国相互接続システム（SIN）の運用と拡張の計画、（iv）数学的モデリング。これに関連して、計画は、210日以内に MME による公開協議に提出される、グローバルな監視目標と指標の確立を規定しています。

この計画は、地域開発省（MDR）、エネルギー調査会社（EPE）、及び国家電力系統運用者（ONS）の参加を得て、鉱山エネルギー省（MME）によってコーディネートされます。

STF（連邦最高裁判所）は原子力エネルギーに関する州の規則を無効とす

2022年8月15日、連邦最高裁判所（STF）は、マラニョン州、バイーア州、アラゴアス州の各州における核活動の実施に制限を課し、規律を課す州規則は違憲であると宣言しました。

この決定は、憲法違反の直接訴訟（ADI）n° 6899号、6901号及び6903号の判決の流れで、仮想セッションで行われました。報告者ヌネス・マルケス大臣は、検事総長（PGR）による訴訟でなされた要求が有効であることを理解し、彼の投票で、核施設及びサービスの開

発に関連する、連邦憲法が第22条第XXVI項で連邦の独占権を規定していることを確認した。

したがって、報告担当大臣によると、連邦法のみが、放射性物質の輸送と使用、核融合設定のある原子炉プラントの位置に加えて、核鉱物とその派生物に関連する問題を規定できるとしている、同じ憲法連邦法第 177条第3項に従って、州がこの問題に関する特定のテーマについて立法することを認める補完的な法律がない限り、従って、この意味での州の規範的行動は不可能であると大臣は投票で結論付けました。

ANEELは、担保要件を見直すための公開協議を開始

国家電気庁（ANEEL）は、2022年8月11日に、公聴会No. 039/2022号の開始を承認しました。これは、ANEEL 規範決議第876/2020 号で電気エネルギーに規定された認可の付与を得るために必要な要件と手順の改善のための補助金を取得することを目的としています。。

提案の受け付けは、2022年9月26日まで「MS Forms」アプリを通じて行われます。

上院がオフショアエネルギーの規制枠組みを承認

連邦上院インフラストラクチャ サービス委員会は、2022年8月17日に法案 No. 576/2021号 を承認しました。当法はオフショア エネルギー ポテンシャルの使用許可を規制し、国の公海でのエネルギー利用に関する規則を定めています。

承認された提案は、主に、資産を使用する権利のコンセッション、又はエネルギー生成のための認可による付与を確立し、ブラジル沿岸沖に位置するすべてのプロジェクトに有効です。大陸棚、領海、排他的経済水域（ZEE）、及びエネルギー生成のための池、湖、水域などの他の内部水域。

このトピックは、今年発表された政令第 10,946/2022号の主題でもあることを覚えておく価値があります。

ANEEL は、認可付与コンセッションのためのアクセス情報要件を
免除する規範的決議を承認

国家電気庁（ANEEL）は、2022 年 8 月 15 日に、規範決議 No. 1,038/2022号の草案を発表しました。これは、発電コンセッションの手続きに関するもので連邦政令第 10,893/2021号によって確立されたように、2022 年3月2日までに必要なコンセッション申請のアクセス情報を提示する要件を免除するものです。

2022 年 9 月 1 日に発効した規範的決議は、ANEEL のパブリックオピニオンNo. 8/2022号の成果であり、認可付与コンセッションのためのアクセス情報要件の免除に言及しています。

この目的で免除されたエージェントは、部門別規則で規制されている接続料の割引の恩恵を受けることを目的として、再生可能エネルギープロジェクトの設備容量の新規コンセッションの発行または拡張を要求していました。新しい決議によると、プロジェクトの実施の偶発的遅延は、TUST/TUSD での割引を得る目的で責任を回避するものとして特徴付けることはできません。

都市モビリティ

TCUがベロオリゾンテ地下鉄の民営化を承認

2022年8月24日、連邦監査裁判所（TCU）は、ミナス・ジェライス州にあるブラジル都市鉄道会社（CBTU）の子会社の民営化プロセスを承認しました。民営化は、ベロ・オリゾンテ地下鉄の2号線の建設と、1号線の拡張と近代化を可能にすることです。約37億レアルの投資が見積もられており、これに加えて、サービスを調査する権利を持つ民間部門からの投資が予定されています。入札の判断基準は、国有株の最高入札額とする。TCU の裁定全文は[こちら](#)をご覧ください。

鉄道

ANTT、2023/2024 規制アジェンダの助成金を発表

国家陸運庁（ANTT）は、2022 年 8 月 15 日、第 6/2022 号交付金の開設を発表し、これは、2023/2024年の2年間に向けた当局の規制アジェンダの準備のための提案を集めることを目的としています。提案は 2022年9月6日に終了しました

連邦監査裁判所は、ANTT に鉄道コンセッションの集中に関する調査を実施するよう命じた決定を見直し

2022年8月15日、連邦監査裁判所（TCU）は、判決 No. 1.422/2021号に対する国家陸運庁の上訴を部分的に支持しました。判決は、西部ネットワークと南部ネットワークのコンセッションの管理権が同一のコンセッショネアによって保持される可能性を考慮して、ANTTが鉄道コンセッションが偶発的に集中する可能性について調査を行うべきであると決定していた。しかし、TCU は、西部ネットワークのコンセッション プロジェクトが投資パートナーシップ プログラム（PPI）の一部となり、所有していたコンセッショネアに再入札することができないため、理解を再考し、調査を免除しました。決定にアクセスするには、[ここをクリックして下さい。](#)

公共照明



カノアス市役所（リオ・グランデ・ド・スル州）が照明 PPP の公開

2022年8月8日、カノアス市（リオ・グランデ・ド・スル州）は、市の照明サービスのコンセッションに関する公開協議の開始を発表しました。公共照明ネットワークの近代化、拡張、運用を目的とするこのプロジェクトは、24年間のコンセッション期間で約1億1,442万レアルの投資を受ける予定です。提案は2022年9月9日まで提出できます。ドキュメントと詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

クリチバの公共照明 PPP に関する公告（パラナ州）発表

2022年8月3日、クリチバ市は、市内の公共照明サービスの管理コンセッションに関する公告を発行しました。公共照明ネットワークの近代化、効率化、拡張、運営、保持を目的とするこのプロジェクトは、23年間のコンセッション期間中に3億2,400万レアルの投資を受ける予定です。封筒の提出は、2022年9月21日にサンパウロのB3で行われます。公開落札発表は、2022年9月28日に同じくB3で予定されています。公告及びその他の入札書類は[こちら](#)からご覧いただけます。

港

ANTAQ、内陸航行に関する決議の発効を延長

国家水運庁は、2022年8月5日に、決議No. 80/2022号、No. 81/2022号及びNo. 82/2022号の発効を延長することを決定しました。これらの決議は特にコンセッション、乗客の権利と義務、及び私的輸送に関して、内陸航行の規則と手順を定めています。決議は 2022年6月7日に一緒に発表され、修正により、2022年8月1日から遡及して2022年11月1日からのみ発効します。

////////////////////

ANTAQは、港湾ターミナルのリースに関する技術的実現可能性調査を承認します

2022年8月11日、国家水運庁は、港湾ターミナル「VDC04」（コンデ村/パラ州）、「POA02」（ポルト・アレグレ/リオ・グランデ・ド・スル州）、「POA11」（ポルト・アレグレ/ リオ・グランデ・ド・スル州）のリースに関する技術的実現可能性調査を承認しました。 プロセスはインフラストラクチャー省による承認のために送られ、その後、連邦監査裁判所に送られます。 [ここで決定にアクセスします](#)。

ANTAQ が 2022 年規制結果評価を承認

国家水運庁（ANTAQ）は、2022年8月11日に、2022年規制結果評価（ARR 2022）を承認しました。評価は、当局の規範的行為の実施から生じる効果と、市場と社会への影響を検証することを目的としています。 判決にアクセスするには、[ここをクリックしてください](#)。

ANTAQは、リース契約における経済的及び財政的リバランスの実現可能性調査及び再構成に関する決議を公表

国家水運庁は、2022年8月18日に決議第85/2022号を発表しました。これは、技術的、経済的、環境的な実現可能性調査の効率化と分析、及び組織化された港のエリアと港湾施設のリースのための経済的及び財政的リバランスの回復のための手続を定めています。決議にアクセスするには、[ここをクリックしてください](#)。

ANTAQは、立入り検査活動の構造と 手順の標準化に関する公聴会を開催

国家水運庁は、2022年8月26日、公聴会第 8/2022号を実施し、コンテナターミナルによって提供されるサービスの構造の標準化と、固有の、付属または補完的なサービスのガイドラインの定義を扱った。国家水運庁はまた、2022年8月29日に、公聴会 No. 9/2022号を推進し、これは、ANTAQ の立入検査活動の管理手順に関する規範的な提案を扱っています。

原油及びガス



赤道付近からの 218 ブロックは、ANP に よる恒久的なオファーに含まれる

2022年8月25日、国立石油天然ガス バイオ燃料庁（ANP）は、コンセッションの恒久的オファー（OPC）に赤道付近から 218ブロックを含めることを承認し、このモデルで提供されているエリアに 90,321.65 km²を追加しました。とりわけ、資産はバヘリーニャス、ポティグアル、フォス・ド・アマゾナス流域にあり、コンセッション制度の下で入札される予定です。この措置により、政府機関は OPC で利用可能な赤道付近の探索的ブロックは71から289に拡大します。また、市場からの提案を得るために、環境省と鉱山エネルギー省の環境意見書と共同宣言が必要になることにも言及する価値があります。

ANPは、新しい陸上探索フィールドの コストを削減する決議を承認します

ANP は、2022年8月25日に、1998年9月25日のANP通達第143号の見直しを扱う新しい決議を承認し、E&P活動を実施する石油及び天然ガスのコンセッショネアが、そのような活動が実施される土地の所有者に支払うべき金銭的補償の計算及び支払いに関連する手順を確立する責任を負います。新しい規制は、現在施行されている標準税率は総生産収入の1%ですが、これは現在、限界分野及びフィールド・スクール・プロジェクトの場合は0.5%、その他の場合は1%の間で変動するようになります。このような変更は、すでに生産されているフィールドとその現在の所有者には影響しません。この措置は、陸上産業への投資を誘致するためのANPと連邦政府によるイニシアチブのパッケージの一部であり、将来の入札で提供される分野の魅力を高めることが期待されています。

第3サイクルコンセッション恒久的なオファーの結果の 一部を承認

ANP理事会は、2022年8月18日に、石油と天然ガスの探査、修復、生産のための恒久的コンセッション オファーの第3サイクルの入札にかけられた59ブロックのうち40ブロックに言及する部分的な結果を承認しました。40ブロックは、公告によると、すでに資格を得た11の落札者に授与されました。他については、法手続きはまだ進行中です。このラウンドには、サントス、ペロタス、エスピリト・サント、レコンカボ、セルジペーアラゴアス、ポティグアル、トゥカーノ海盆にある資産が含まれており、13の異なる落札者が取得しました。取得した総面積は 7,854.91 km²で、コンセッションの最初の数年間の投資予測は少なくとも BRL 406,290,000.00です。落札企業は、コンセッション契約を実行できるように、文書を提出し、最小探索プログラム (PEM) の財務保証を提示し、署名ボーナスを支払う必要があります。

ボリビアとブラジルのガスパイプラインにおける天然ガス輸送能力の契約の為の公募通知に公開協議承認

2022年8月25日、ANPは理事会を通じて、ボリビア-ブラジル ガス・パイプラインにおける天然ガス輸送能力の契約に関する公募通知（CP 04）への提案を求める公開協議を承認しました。当局は、2023年から2027年までの期間のガスパイプラインの安定した輸送能力に加えて、天然ガス・パイプライン輸送サービスを契約する権限を与えられた潜在的な代理人を公告を通じて特定する予定です。公聴協議会と提案の分析の後、公告草案、輸送契約草案、ブラジルのボリビア - ブラジル ガス・パイプラインの運送会社 S.A. (TBG)の最大許容収入、及び契約される会社の輸送サービスに適用される参照料金が承認されます。

限界経済性の分野における石油と天然ガスの生産を刺激することを目的とした決議承認

連邦政府は2022 年 8 月 12 日に限界経済性の炭化水素の分野または蓄積の開発と生産を刺激するための措置を提供する国家エネルギー政策評議会（CNPE）の、[2022年6月23日の決議第05号](#)を承認しました。今回の新たな措置は、海域生産活性化プログラム「PROMAR」の範囲内で行われた公開協議と公聴会の成果です。この規則は、ANPのガイドライン、当局の手続きにおける官僚主義の削減、限界経済性の分野の契約上の拡張のための特定の規則の確立、ロイヤルティを法定最低額まで削減する可能性を含めることを規定しています。また、温室効果ガス排出量の環境補償方法に関する研究を開発する予定です。最終的に、決議の目的は、油田の時期尚早の不活性化を防ぎ、回収率を高め、石油と天然ガスの限界蓄積による探査ブロックの生産を刺激することです。

バイオ燃料

RenovaBioの目標削減に関する公聴会が開催

ANPは、2022年8月17日に、国家バイオ燃料政策（RenovaBio）の範囲内で、燃料の商品化のために温室効果ガス排出量を削減するための必須の年間目標を個別化することを規定し（RenovaBio）、2019年のANP決議第791号を見直す決議案に関する公聴会を開催しました。その目的は、長期供給契約におけるバイオ燃料の取得に関して、ディストリビューターの個々の目標の体系的な削減に対処する規定を追加することです。草案に含まれる主な提案には、削減を適用するための最低契約期間の確立、目標削減を目的とした契約履行の年次検証、個々の目標の削減を20%に制限すること、及び契約上の様々な期間の削減規模。公聴会及び公開協議中に受け取った提案も、ANPの技術分野によって評価されます。

高速道路

北ロドアネルのコンセッションに関する新たな公告

2022年8月13日、サンパウロ政府は、北ロドアネルPPP（官民連携プロジェクト）に関する新しい公告を発行しました。変更された中には州政府は高速道路の建設の70%をカバーする予定であるため、州政府が企業に提供する公的資金の増加が際立っています。更に、コンセッションネアに毎年支払われる最大支払額が増加し、内部収益率も上昇しました（以前は8.9%でしたが、現在は9.9%に上昇）。入札は2023年1月12

日に開催される予定で、対価に対して最も低い割引を提供する入札者に落札されます。プロジェクトの詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

BR-116道、BR-465道及びBR-493道の区間のコンセッション契約を締結

2022年8月19日、国家陸運庁は、リオ・デ・ジャネイロ州とミナス・ジェライス州を結ぶBR-116道、BR-465道、BR-493道の一部について、エコ・ロドビアス者とのコンセッション協定に調印しました。このコンセッションは30年の期間があり、インフラ改善工事に110億レアルの投資を受ける予定です。

BR-381/MG（ミナス・ジェライス州）国道のコンセッションに関する公聴会開催

2022年8月3日、国家陸運庁は、BR-381/MG（ミナス・ジェライス州）国道のコンセッションについて話し合う公聴会を開催しました。公聴会を通じて、プロジェクトに関連する公告及び契約書の草案に対する提案が集められました。

ベロオリゾンテ市環状道路コンセッション入札

2022年8月12日、サンパウロ証券取引所（B3）で、ベロ・オリゾンテ市ロドアネルのコンセッションの入札が行われました。入札の落札者であるINC・SPAグループは、政府が支払う月額対価の最低額を提示しました。これは、公告で規定されている BRL 103, 738, 000. 68の上限に対して12%の割引を表しています。コンセッションの30年間で50億レアルが投資されると見積もられており、そのうち30億レアルは、会社と州との間で署名された契約の結果として、ヴァレ社によって ブルマディーニョ市に発生した被害に引当てられます。

上下水道



STF（連邦最高裁判所）は、洪水の影響を受けた人々に上下水道料金の免除を認める州法の規定を違憲と宣言

連邦最高裁判所（STF）は、2022年8月16日に、ミナス・ジェライス州の2021年の州法第23,793号の条項は違憲であると宣言されました。これは、洪水の影響を受けた消費者に対して上下水道料金を免除を許可するとしたものです。裁判所は、基本的な上下水道の新しい法的枠組みによれば、権限は市のものであり、その後、コンセッションの経済的財政的バランスを損なうことになる」と強調した。

BNDES（国立経済社会開発銀行）と IDB（米州開発銀行）は、農村地域とスラムにおける PPP（官民連携プロジェクト）と水と衛生サービスのコンセッションの実現可能性を調査

国立経済社会開発銀行（BNDES）と米州開発銀行（IDB）は、官民パートナーシップ（PPP）プロジェクトと、特にブラジルの農村地域貧民街における上下水道サービスのコンセッションの実現可能性を評価するための技術協力協定に署名しました。その目的は、これらの場所に投資を向けて拡大し、関連するリスクを軽減することです。これらのスタディは2022年末までに完了する予定です。

SP州控訴裁判所の決定は SABESPの相互免除の権利を認めていない

サンパウロ州控訴裁判所第18公法会議所は、サンパウロ州SABESP社の控訴を棄却し、IPTUと公共照明の分担金市税の徴収に関して、相互免除を認めることは不可能であると判断しました。勝利投票によると、相互免除の付与は、平等と自由競争の原則に違反することになります。指定された報告者の投票は、STFのテーマ508も想起しました。それによると、「株式が証券取引所で取引され、その支配者または株主の資本に報酬を与えることを明確に目的としている混合資本社会は、実行された活動のみを理由として、憲法の第150条、VI、「a」に規定されている免税規則の対象となります」(REsp 600.867/SP (サンパウロ))。

固形廃棄物

コンソーシアムがリオ・グランデ・ド・スル州のマクロ地域で固形廃棄物コンセッションの構築を開始

リオ・ドス・シノス川流域地域の14の自治体で構成されるプロ・シノスコンソーシアムは、コンソーシアム都市に対応する固形廃棄物コンセッションを構築する為カイヤ連邦貯蓄とのパートナーシップを正式に締結しました。入札プロセスは2年以内に構築されて終了し、落札企業は3年後に操業を開始することが期待されています。

社会インフラ



バイーア州のコンドウル公園のコンセッ ション プロジェクトが入札となる

2022年9月13日、コンドウル公園コンセッション プロジェクトの封筒がサンパウロのB3に届けられました。Farah Service社が最良の提案を提示しました。プロジェクトはBNDESの支援を受けて構成され、アトラクションや施設を訪問するためのサポート サービスを提供することを目的としており、投資に先行して、バイーア州の公園の再認定、近代化、運営及び保守を目的としています。

エレチム刑務所コンプレックス PPP プロジェクト入札

2022年9月12日、サンパウロのB3で、エレチム刑務所複合施設のPPPのコンセッションを付与する国際競争入札が行われました。入札プロセスの詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

このプロジェクトは、刑務所複合施設の建設、装備、保守を含む運営支援サービスのコンセッションをカバーしていました。TozziniFreire 弁護士は、BNDESが雇ったコンサルタントのコンソーシアムの一員であり、エレチム刑務所コンプレックスのPPP パイロット プロジェクトの構築を支援しました。

TozziniFreire Advogados の事前の同意および許可なしに、この資料の全部または一部を複製することはできません。



**Newsletter content produced by TozziniFreire's
Infrastructure & Energy team**

Partners responsible for the content:

- ✉ Ana Carolina Calil
- ✉ José Augusto Dias de Castro
- ✉ Jun Makuta
- ✉ Karin Yamauti Hatanaka
- ✉ Leonardo Miranda
- ✉ Marcelo Zenkner

www.tozzinifreire.com.br

This material may not be distributed or offered without the prior consent and authorization of TozziniFreire Advogados.

Tozzini Freire.

ADVOGADOS



São Paulo,
Rio de Janeiro,
Brasília,
Porto Alegre,
Campinas,
New York